

C'est très bon! Vol.115

へおいパンの通信へ

2013.05.23

Boulangerie
C'est TRÈS BON
Chef Kevin Onishi

パンっておいしいなあを改めて感じている今日この頃です。

パンを通じておこるいろんな奇跡に感動しています。

パンを通じて人と出会い、その出会いがこの道で生きていくことを決まらせてくれました。
バが折れそうな時にも支えてくれました。物ではない、幸せ、想いを伝えることができるのだと教えてくれたのも出会いでした。パンを通じて広い世界を知り、大きな夢を描くこともできました。ただのパンですが、深めれば深めるほど、私にとってパンはミラクルです。大切な人生の師も親友も感動も成長も人生にとって必要なものすべてを与えてくれたからです。5月はほんとうにたくさん本を読みました。たまにそういう時がおとずれます。自由にできる時間ずっと本を読んで、よく涙を流してた...そういう感じです。それはある一人の方との出会いがきっかけでした。これもパンを通じてのミラクルな出会いだと思います。去年販売スタッフから名刺を一枚もらい、このお客様が連絡をほしいということでしたと伝言を受けました。電話をすて、その方の友人が私に手紙を書いたのて住所を教えてくださいということでした。(そのお客様とは今もお会いしたことがないのですが...)手紙を頂き、3月に30分くらい店をそのお客様の友人とお会いしました。鹿児島でホステスを経営されている方でした。その方の病院のホームページを見てその方の文章を読んだ時、もて話をしてみた。鹿児島へ会いに行こうと思、4月にお会い、夕食を一緒に、いろんなお話をしました。お会いしたのはたった2回、ほんの数時間なだけです。でも、その方が紹介して下さった本、その方がお話ししてくれ、下さった言葉は、今の私にとってほんとうに必要なものだったのです。人生における人との出会いの不思議だと思います。必要な時にとてもぴったりの必要な人が、えー!! こんなすばい人が...と目の前に現れてくるのが、今までにも何度もありました。家族のこと、夢への土着か遠そうな道のり、スタッフと共に成長しながら店を運営していくこと、その中に壁を感じ、どうすれば...と思、悩む私に、本とその方の言葉が道を示してくれました。なんとなくバがスーッと晴れた気分です。軽くなったというか、あまりにもまわり、たくさん感謝があふれている感じです。普段だったら色々とこんなバの交流をしようがない病院の院長..トボンのパンが喜び、つなぐで、私に幸せをくれました。いろんな本を読んだのですが、その中でもすごく感動したものを紹介します。本、その人が、必要な時に読む方がバにスーッと入ってくるものですが、興味のある方はぜひ。私がトボンで壁にぶちあたりながらもそれを乗り越え成長し、今があるのはほんとに本のおかげだと思います。だから、本っていいですよー。

「死にゆく者からの言葉」 鈴木素子 文春文庫

「死にゆく者との対話」 鈴木素子 //

「ライフ・レッスン」 エリザベス・キューブラー・ロス 角川文庫

この方の「人生は廻り輪のように」もいいです。

K.O.